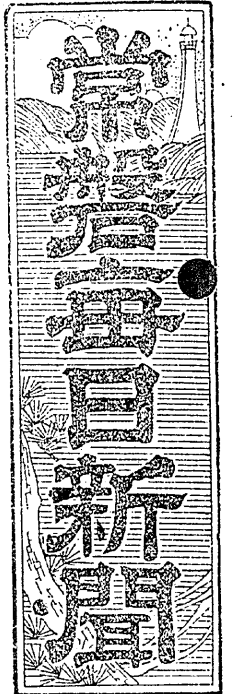


夕刊 日四十月五



定価 一冊全五錢 五拾冊五圓
 廣告料 五號十二字 行金五拾錢
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常新日新聞社
 編輯部 常新日新聞社
 印刷所 常新日新聞社

兩親に贈る言葉(6)

上村 哲彌

けれども獨立を欲する青年期の男子、秘密を喜ぶ處女期の女子が、幼少の時から自分の最も善い友人、最も親切な指導者としてなれ親しむことの出来なかつたやうな兩親に、どうして全てを打ち明け全てを圖るといふやうなことが急に出来るでせうか?常に綱の用意を怠つてゐるならば、淵に臨んで魚を羨む結果となるのが當然であります。此れらの點から考へても幼少時からして兩親が子供の相手となり友達となることは極めて大きなことであります。第三に、教育者としての兩親は我が子の共働者となり、刺戟者となり、鼓舞者となり、指導者とならねばなりません。子供の善き友達となり遊び仲間となることは勿論大事なことでありませんが、それにも劣らず大切なことは我が子の勉學、我が子の修養、我が子の鍛錬に於て兩親が賢明に彼を刺戟し彼を督勵し、彼を善導するといふことであります。私はかゝるものとしての父親を考へる時、何時でも感激を以て彼のパスツ

ルの父を思ひ起すのであります。パスツルは御承知の如く近世科學界の大恩人でありまして、有名な恐水病の病原菌をはじめとして幾多の偉大有益な発見をしてその飽くことを知らぬ探究欲と研究熱との故に細菌の獵人といふ名を得たほどの人であります。彼の父は一介の筋肉労働者に過ぎなかつたのであります。が、究學の念強き我が子の良き勉強相手となつて益々その

- 明日の献立
- 朝味噌汁・わかめ
- 五月味噌
- 小付

【晝】野菜こまぐ

いため御飯(人參)

いんげん 玉葱 筍

【晚】筍クリーム煮 焼物

鱈 小井 そら豆

しほゆで

好學心を鼓舞せんがため、晝間の労働に疲れた肉體に鞭打ち乍ら、夜遅く迄若きパスツルと一緒に六ヶ敷い高等數學や化學式等を勉強したのであります。此のパスツルの父にも劣らず誠に長敬す可き母親が日本にありました。それは假名書四書で有名な米澤の黒井繁野女です。繁野女の逸話は普く人口に膾炙してゐますので、茲には申上げ

常磐八藝

(詩)

兄 貴

南 登代秋

刈り干した麥を満足さう

に見ちやア

ニコリ／＼大きく笑ふ兄

貴なんだよ

おふくろのきせるうつし

に

なたまめぎせるを吸ひ付

けると

大きな鼻の穴から

盛んにふき出す煙のほ

ひ

ひげだらけの顔は

しよつちう笑つてゐるん

だよ

とんびがヒヨロ／＼と

大きく輪を書く眞晝なん

だよ

外科 専門
 木村外科醫院
 電話三〇九番
 平町六丁目橋際
 自炊入院の便あり

新しい……
 ハナのタネ
 入荷致しました 横濱植木會社の特撰品です
 平2 西村屋藥局 電3

耳鼻咽喉科専門
 平田町(電話六九一番)
 病室完備 自炊便有
 山内醫院
 醫學士山内亨吉

一冊の代金で
 御希望通りな
 五冊の雑誌が
 自由に讀める
 川崎 回文庫
 電話六三〇番
 (申込次第規則書進呈)

干やなぎ
 味美 鯉鹽から
 當店特製
 鯉節
 魚問屋
 榮盛賀志
 番三一二話電 目丁四平平

和漆器家具
 電話増設
 電話二三一番(支店長宅)
 平町三丁目
 株式會社 七十七銀行平支店
 電話四一四番

喜多流 諸曲と仕舞の
 稽古をお奨め致します
 平町田町六九
 喜多流 仕舞白土會
 入會隨時 電話一二七番

吉田眼科醫院
 平紺屋町 電話六八番
 醫學士田吉久雄

荒れる海に

鳴り渡る警笛

江名漁業組合の新施設

江名漁業組合は漁船の事故防止のため同港にサイレンを設備し時化の際には吹鳴して航行中の漁船に周知せしめる事になった

機能強化に

縣聯創設

紹介事業促進

平、湯本兩職業紹介所は福島、若松、郡山三市紹介所と聯絡夫々の機能を發揮する強化手段として又統制ある事業遂行のため今回縣職業紹介所聯合會を結成することになったが會長には諸橋學務部長が推される筈で創立總會は六月上旬開く豫定

平町青年團

總會を開く

讀賣外報次長講演

平町青年團總會は来る十七日午後一時より平第三小學校講堂に開き昨年退團した各分團長への感謝狀贈呈及優良團員の表彰式を舉行するが午後三時から讀賣新聞社外報次長鈴木東民氏の講演がある。因に同團は此種

川瀬炭礦

株式組織に

赤井村川瀬幸治氏は獨力經營の川瀬炭礦を資本金三十萬圓の株式會社に變更することとなり目下準備中だが同社では新たに營業工場を設置する計畫である

魚市場を

近く着工

小名濱の懸案

小名濱町は町營魚市場建設に對して過般町役場主催の下に町當局、町議、漁業組合員、海産物商組合員一行が先進地鹽釜、八戸、釜石方面を一巡して歸町本十四日午前七時から全員集合して意見の交換を行ひ近く報告書を作成、同市場工事を近く着工すると

十個の割當てに

四十三名の申込み

架設電話の抽籤

既報平郵便局本年度の電話架設申込は四十三名の多數に及びいづれも抽籤日を待ちあぐんで居た處同局の架設割當は十個と決定したので愈々三四日中に同局宿直室で抽籤を行ふが申込者の七割は商店會社で占められ電話の需要性を雄辨に物語つて居る、尚郡内主要局の割當数は小名濱植田各十五江名十二個である

採用受験

希望者が案外少い

昭和八年度會社工場解雇職工の採用に就いて本十四日午前九時から平町會議室で岡崎市岡崎レイオン工場から同社人事係淺野謙三氏が來町の上採用試験を行つたが希望者は以外に少なく採用人員四十五名以上に對して僅かに解雇職工十餘名と一般希望者を合せて廿餘名であつたが引續いて廿日には湯本紹介所で採用試験を行ふべく希望者の割に少ないことは解雇職工を便宜上各村した

龍田消防視察

龍田消防視察 双葉郡龍田村常設消防組員十五名は本十四日午前九時來平平消防組を視察した後同町松ヶ岡公園の躑躅を觀て歸村した

宗教的情操陶冶

平方部教務主任が研究

本郡第三區平第一外十五校の教務主任會は来る二十三日午前九時から平第二小學校に開き「宗教的情操陶冶の具體案」に就いて研究する外左の談話題を協議する
一、其校學級經營案作成上の基準承りたし
一、其校兒童訓育の方針並に施設狀況承りたし

平町の警中進學

全体の約三割弱

警中に於ける今年度新入生二百五十名の出身別は石城二百三十八名、双葉十名、他府縣二名であるが郡内の町村別は左の如く平町が全體の約三割を占めてゐる
平町六八 内郷三三 湯本一八 好間一六 小名濱一一 四倉一〇 警崎九 夏井江名各七 草野 平窪各六 飯野 神谷 大浦 植田各五 高久 豊間各四 泉三 鹿島 渡邊 勿來 川前 上下小川各二 夏井 大野 玉川 上遠野 入遠野 永戸 箕輪各一

女子和様書道研究會

普通部

△雙葉郡請戸村大字兩竹字北觀音堂三四石川清記氏
△結婚 姻 氏長男泰光さん
△結婚 姻 草區花川戸二丁目二一須藤久太郎氏二男友久さん
△入會隨時 御申込ニヨリ略規進呈
△男子ニテモ特別御希望ノ方ハ入會差支ナシ
平町十丁目五二九 (警察署前)
柳香會
中世古 樵舟

書方研究教授

一、小學校四ノ一組の書方研究教授は今十四日午前十時から大和田訓導の受持に依り行はれたが午後三時から職員一同の批評會が開かれた

平町人事

△町三六當時東京市麻布區飯倉片町三三石上泰仙
△町三六當時東京市麻布區飯倉片町三三石上泰仙

平職業紹介所報告

△人を求める方
▽撤水夫 廿二才 給料七才十圓
△柏人夫 二〇才 卅五才 給料十才十四圓
△農夫 四十才迄 給十五圓
△柏人夫 卅才迄 給十圓
△精米夫 廿五才迄 給六圓
△探採夫 四十才迄 日給一圓
△職を求めの方
△事務員 十九才 中卒
△トラック助手 廿四才 高卒
△上工夫 卅一才
△鐵工 廿二才 高卒

店主が店員を連れて行かれる

正シイ食堂
正シイ喫茶
正シイ酒場

レストサロン

北川外科

平町新川町
北川外科
院長 北川 義夫
電話 四八四

夏季鯛漁の走り

果然活氣づく

石城各濱

小名濱大敷網の豊漁で 水揚高値六十割を呼ぶ

石城海岸 鯛の魚群が襲来、一躍百貫 地方、豊間小名濱の各大敷網は冬期天候不順から潮流異變を来たし例年より遅れで本月上旬より投網を開始した。が投網以來潮流關係が順調のため連日朝夕二回の揚網でイワシ、サメ等の豊漁が續き活氣を呈してゐたが昨十三日小名濱町マルタカ高橋大敷網に見込である

鯛の魚群が襲来、一躍百貫 餘の 豊漁あり 本年鯛漁初の收穫で果然活氣は緊張し鯛群近づくの好報に各濱共早くも豊漁を豫想して大漁氣を顯出し、尙同日の鯛の相場は本年の走りのため 水揚價格 六十割の高値で市場相場は七八割の見込である

農家の救ひ

九品寺の託兒所

來月十七日から開始

平町九品寺農繁期託兒所は來月十七日より二十八日まで十二日間例年の如く開所附近農家の幼兒を預ることになった

かざして「二年 同」僕等のお節句「二年 齊唱」猿まをし、汽車「三年 獨唱」灯、鉦をおさめて「高二木田菊壽△第二校遊戯」ボチ、チユリッソ「一年 同」あげひばり「二年 齊唱」私のピアノ、走る汽車「三、四年 同」胡蝶、密柑採、月下舟行「五、六年△第三校 唱遊」近衛の兵隊さん、新兵さんのお星「一年男女 兒童戲」三二年振りの凱旋「三年男 唱遊」野に出て

保護者總會の演技種目

既報明十五日午後一時から第二小學校に開かれる平町小學校保護者總會には三校合同の兒童學藝會が催されるが各校の出演種目は左の如くである

△第一校 唱遊「日の丸

匪賊討伐に奮戦中 悲壯な戦死を遂ぐ

好間村大字上好間字新車居 住石炭行商惣助氏の次男獨立守備隊第二大隊一等兵高野傳(三)君は去る十一日滿洲國興京縣附近で匪賊討伐中名譽の戦死を遂げた旨十三日夜守備隊より同家に達した、その電報に依ると 十一日興京縣サンブニチレイの戦場にて左背に盲躍渡満したのである

不敵の二少年賊 盗品を賣り遊興

湯本町字辰ノ口四九黒川松之助(九)同町三國二八遠藤勝次(八)何れも假名の兩名は去月下旬頃から湯本、内郷方面の炭礦専門に前後數回に亘り銅線新品約五貫、價格二十餘圓を窃取内

射撃大會に 平支部員出席

福島縣獵友會射撃大會並に總會は十七日郡山市開盛山公園で開かれるが同會平支部からは馬目太平治、楡山謙、渡邊貫一氏外二名が出

裁判所だより

△好間村大字北好間字離六農松川(四)は去る一月二十二日午後十一時頃残火の不始末から火災を起し自宅及び隣家の鳴原光永氏一棟を焼失失火罪として今十五日平區野木判事から略式罰金三十圓に處された

明日のラジオ 十五日

今夜は南東の風 曇り後驟雨模様 明日は東の風曇り後驟雨模様

今晚の部

後六、〇〇 偉人物語「江川太郎工術門」東京放送 童話研究会

後六、二五 「司法権の運用と法律家の職責」乾政彦

後七、三〇 講演「輕合金の進歩と航空機の發達」田邊友次郎

明日の音

前六、三〇 國語講座 佐伯常勝

前七、〇〇 朝の修養「參同契」加藤咄堂

前九、〇〇 家庭メモ

前九、三〇 家庭講座 「醫者の来るまで」橋本寛敏

後〇、〇五 連續講談「籠釣瓶」神田伯龍

後二、〇〇 婦人の時間 「家庭と法律」牧野菊之助

後二、四〇 小學生尋六の時間「北海道めぐり」函館札幌 旭川

後三、一〇 教師の時間

「兒童心理學」藤部彌太郎 實況二日目(兩國國技館より中継)

後六、〇〇 (子供の時間)「忠子のいっしょ」日記「チユウチユウ座(桃谷中繼) 後七、三〇 青年の夕」藤業「發明と體験を語る」坂井田藤一他

後八、〇〇 勞働民謡 權藤園立

後八、三〇 洞窟と詩吟 湯澤天真他

後八、五〇 管絃樂 日響クワイア

後九、五〇 日本棋院春季大手合戦績

好間村出身の高野傳君 守備隊より飛電

貫銳劍を受け十二日午後七時奉天病院に收容したとの事で同家は長男重一(三)は目下行衛不明で三男義男、長女ヨシ、次女ハル三女秀子、四男勝男の六人の兄妹あり同君は同村北好間字澤小屋味噲醸造業高木勇方、奉公中一昨年暮に勇躍渡満したのである

歸らぬ母 母親の説諭願

玉川村大字住吉醬油製造業

去月十日宮城縣大河原町で覆面強盗を働き過般仙臺地方裁判所で懲役五年を求刑され十二日懲役三年六ヶ月を云渡された

軍艦見學強行軍

磐城佑賢學舎は來る二十四日小名濱港に軍艦本會の廻航を機とし自轉車隊を組織し同濱に強行軍を行つて軍艦を見學するプラン作成中である

△優勝旗は三ヶ年繼續優勝支部に授與すること

△常任幹事の幹事會出席旅費の一部を支給すること

射撃大會に 平支部員出席

同時に協議題提出

福島縣獵友會射撃大會並に總會は十七日郡山市開盛山公園で開かれるが同會平支部からは馬目太平治、楡山謙、渡邊貫一氏外二名が出

搜索願二件

赤井村大字南赤井字久保田七八福島市置賜町生れ長谷川周助(三)は本年三月から平町紺屋町加納活版所に職工として働いてゐたが去る

伊達郡富田村大字鶴沼喜作長男渡邊道喜(三)は去月末種子類、行商に出た以後平町久保町高木旅館に寄宿したところまでは音信あつたがその後行方全く不明になつたとて曾父の喜作さんからこれも平署へ



提燈

繞る解瓦解の設

悟道軒圓玉(作)
丸尾至陽(黄)



一二〇 留置所の一夜

谷中の名主三河屋儀兵衛かたを出た青木彌太郎は駕に乗つて日本橋白銀町の名主のもとに來た。同心や與力がつきそつてゐる、青木は駕から出ると繩をとかれ、奥の座敷に案内された、もうこの時は午後の六時頃この名主は柿澤平次郎といふ、江戸時代町名主は玄關がまへの家に住んでゐる、町内の者は名主のことを玄關の旦那といつて尊敬した。しかし青木はお目見え以上の立派な身分、それ故名主も鄭重に取扱ふ、夜に入ると辨當を出した、青木はそれを見て

彌「この茶は何だ、奇妙なものだな」
問はれて名主の手代が
○「それは油揚の煮びたしでございます」
彌「油揚げか、俺は稻荷の祠に菓を食つてゐる狐ではねえぞ、こんな物で飯は食へねえ、所持金があるからその内で二歩ばかり鰻のあらいとこをいひつけてくれ、それ一杯やるから酒の支度もしろ」
○「仰せはございますがあなたの所持金は一錢も

かうことはなりません、それは公儀に差出します、鰻だけは手前の方で差出します、お酒は御勤弁くださいまし」
彌「御勤弁くださいましとはそれはどんな意味がある



江戸前だな」
○「へえ、本名町の龜富の鰻でございます」
彌「さうだらう、貴様もたべたくばおごつてやるぞ、但し代はそつちで拂へ」
など、冗談をいつてゐるその内に支配頭の高力丹波守より受取人が参つた、青木は再び駕に乗り五十人程の侍に警固されて本所一つ目弁天小路の渡邊政之丞といふ支配頭の邸へ來たが、この時は午前二時頃。玄關より通り座敷にて暫時休息して、これから案内にしたがひ長屋續きに出て居る今

ろたさうです、うちに夜は明け、するとこの渡邊政之丞の通用門に來たは若い仇めいた女、鳴海綾りの浴衣に唐朱子と八友の晝夜帯をしめ、髪はつづぶしの島田吾妻下駄をはい丈のすらりとした姿の粹な尤物、それと共にゐるは廿七八になる狭せな男、松坂木綿白微塵の單物に博多の平織をしめ大きな包みを五十ばかりになる老爺に持たせて門を叩き

男「御免なさいまし、門番さんまだ寝てゐるかえ、オイ門番、何時まで寝してゐるんだ、起きろ」
「ドン／＼／＼門をはげしくたたいて、門番はもう起きて窓から表を見てゐたが
門「何だ、何ぞ用事があつて参つたか」
男「青木の殿様はこつち送られたさうだね、差入を持つて來たんだ、お願ひ申します」
門「待て、今開けてやるぞ」
やがて門をひらいた、その時に女が

ナ
と皮肉なことをいつた、手代はへえへ、と笑つたが
○「お酒を差出すわけには参りません」
彌「さうか、それでは酒だけは止める、鰻は持つて参れ、大分空腹になつた」
こゝで鰻井を取寄せた、彌太郎はたべたが
彌「この鰻は旅ではねえな

で申す留置所、昔はこへ連れて來られた、この時に係の者が彌太郎はむかひ
○「御窮屈でもございませうか、暫時この内におゐてくださいまし」
とかういひ渡してこの留置所に入れた、ところが暑いこと本所名物の蚊にせられて一晩寝ることも出来なう、豪膽不敵な青木彌太郎もこの蚊にはおどい

いひながら門番の手を取つたが金の入った紙包をにぎ

らした門番はエへ、笑ひ門「それは何うも大きに御苦勞、ちよつとお待下さい」と奥に行く。

宗正らひた

山崎合名會社
電話一〇番

貴方の御家庭に
お手不足は御座いませんか
本會を御利用下さい
直に家政婦派出します

親切 料金は極めて低廉で
町寧 妊産婦の御家庭 お留守 居番
御病人の付添 炊事や難用 年寄やお子さんの付添
派出多忙に付會員至急募集
平町紺屋町二(電話二二番)

上原家政婦會
會主産婆 上原通子

X外科 内臓外科 院長 安齋 徹
X光線科

産婦人科 醫學士 黒澤 廣
△入院隨意△

平町田町

安齋醫院
電話四七五

お醬油は ヤマフル

福島縣平町

醬油味噌
たひら正宗
鯉節食料品



鹽屋

明治生命磐城代理店 山崎與三郎
電話二七番